

### 人口と世帯

54.9.1現在

(前月比)

男 5,811人 (+19)

女 6,155人 (+14)

計11,966人 (+33)

世帯数2,781(+4)

# 広報くにも

発行 / 国見町役場

編集 / 企画課

福島県伊達郡国見町

大字藤田字一丁田二

2 / 1 ☎969-17

電話藤田(024585)211100

昭和54年 9月15日

## No. 75



### 父・娘⑥

高橋 芳男さん(51)

2女 富美子さん(22)

(藤田字南48 マルゼン履物店)

「お客様にはいい品物をできるだけ安く、そして気持ちよく選んでもらえるよう努めています。マルゼン履物店は昭和21年に開業。現在のご主人芳男さんは2代目である。一口にはき物と言っても多種多様、流行とお客様の好みに合わせた幅広い需要にこたえていかなければならない。運動くつだけでも50種類、長くつは 300種類もあるという。

富美子さんは家業を手伝って3年。仕事のコツのみこみ、頼もしい限りの3代目である。

# '79

# 9

# 月

### おもな内容

- 生きがいのある老後に…………… 2～3  
—みんなで考えよう老人福祉—
- 10月7日は衆院選投票日…………… 4
- あの人この人…………… 4～5  
(大波キミさん)
- 公民館だより…………… 6～8
- ゆく夏を惜しむ…………… 8～9
- おしらせ…………… 10



# 生きがいのある

## みんなで考えよう

あなた100まで……

長寿のご夫婦 鶴田惣太郎・サキさん



内谷西部落の鶴田惣太郎・サキさんご夫婦はそろって元気に敬老の日を迎えます。

惣太郎さんは現在91歳、またサキさんは85歳で夫婦としては国見町最年長者。結婚60年を祝うダイヤモンド婚式も6年前にすでに終えました。

長生きの秘けつは「くよくよしないので夫婦なかよく暮らすこと」。惣太郎さんは若い頃から部落長などの役職を経てきただけに記憶力がよく、新聞などもよく読み、肌もツヤツヤ。とても91歳の高齢には見えません。

しかし、決して丈夫な方ではなく、病気で死にそうになったことも2度あったとか。「だから、50歳過ぎてからは無理しないよう体に気をつけてきた」ということだ。

また、サキさんも昨年は具合が悪くて入院しましたがこの頃はずっと元気になりました。温かい家族に囲まれてこの上もない幸せなお2人。ますますのご健康をお祈りします。

### 敬老会の実施

敬老会は、お年寄りの長寿を祝うするために毎年九月十五日、町体育館で開催、一日を楽しく過ごしていただきます。なお、敬老会の席上、八十歳になられた方に記念品(座布団)をお贈りしてお祝いをしています。

### 敬老祝金の支給

町では毎年九月、満八十歳以上の方に敬老祝金五千元を支給して

います。なお、八十五歳以上の方には県からも敬老祝金五千元が贈られます。

### 老人クラブの活動

お年寄りが老後の生活を有意義に過ごすため、地域ごとに老人クラブを結成しています。町内には十二クラブ八百二十六名の方が加入し、会員の教養向上のため研修会を開いたり、レクリエーションを楽しんだりして活発に活動しています。町文化祭では毎年老人クラブの作品が数多く出品されます。

### 老人ホーム

六十五歳以上の身寄りのないお年寄りや、いろいろな事情によって養護を受けることができないお年寄りのために養護老人ホームがあります。近くには桑折緑風園、福島恵風園、川俣光風園があります。また、身体に著しい欠陥があるため常時介護を必要とし、しかも自宅で介護を受けることができない老人のために特別養護老人ホームがあります。近くには飯坂特別養護老人ホームがあります。

松浦喜一郎	小浦一	佐藤勝	安藤三	加藤三	遠藤三	佐藤三	佐藤三	高橋三	松本三	大沼三	鈴木三	清原三	吉田三	阿部三	阿部三	松田三	岡田三	斎藤三	熊野三	野村三	高梨三	吉田三	阿部三	早田三	佐藤三	佐藤三	吉田三	村上三	後藤三	
喜一郎	一	一	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
85歳	85歳	85歳	85歳	86歳	86歳	86歳	86歳	88歳	88歳	88歳	88歳	89歳	89歳	90歳	91歳	91歳	92歳	101歳	85歳	86歳	86歳	86歳	86歳							

# 十月七日は

## 衆議院議員総選挙 【最高裁判官国民審査】の投票日

十月七日(日)は衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官国民審査の投票日です。

### 投票時間

午前七時から午後六時まで

投票できる人

・昭和三十四年九月一日まで生まれた者

・昭和五十四年六月一日まで転入届を出した者

不在者投票

目が見えない人にとって点字は読むことのできる唯一のことで、大波キミさん(山崎字沢田八の九)は、一年半ほど前から点訳奉仕を続けている。いま取りかかっているのは小説「浪人若殿」。この文庫本一冊が、点訳すると七巻にふくれ上がる。「続きを読む」を待っている人がいると思うとつい熱がはいてやめられなくなり、とヒツチも上がり、完成が近い。

点訳奉仕を始めたきっかけは、「娘が学生時代からボランティア活動をしていて、その娘に勧められて」。点字図書館の通信教育で学ぶこと三年。「自分では覚え

投票日にならずに、方前もって不在者投票をすることが出来ます。不在者投票は九月十七日から十月六日までの間、午前八時三十分から午後五時まで、役場内選挙管理委員会で受け付けています。また、身体障害者手帳、戦傷病者手帳をもち、重度の障害のある方は自宅から郵便で投票ができます。くわしくは選挙管理委員会におたずねください。

たつもりでもなかなか修正証書がもらえない、何度もやめようと思った、そうである。点字は六つの点の組み合わせで一つの文字となる。当然、一点でも違えば表示言葉は全く違ってしまう。覚えなくてはならないのは、五十音のほかにアルファベット、数字や記号など百字は越す。通信教育が始まって最初の一年は、与えられた問題にえんぴつで点をつけて訳し、点字図書館で添削して送り返す。この繰り返し。地味

## 藤田投票所は

## 藤田小体育館に

十月七日に行われる衆議院議員選挙の藤田投票所が、都合により藤田小体育館に変更になりました。今までは藤田投票所は町体育館としていましたが、この選挙期日決定のかなり前にアツイン国見演劇公演のために貸出してあり、その準備がすべて完了、変更は無理とのことから藤田小体育館に変更になりました。

藤田地区のみなさん、どうかよろしくお願ひします。



(25)

で孤独がかつ根気がいる。一番苦労したのは「マスあけを覚えること」。

「マスあけ、すなわち、一定のルールに従い言葉と区切るのだが、点字はすべてカナなのでこれがいい加減で意味が通じない。

## 点訳奉仕を続けている 大波キミさん

このため、国は、東海地域をはじめとし全国的に地震予知の観測・研究を実施するなど予知技術の向上に努めてきました。この結果、マグニチュード8程度の大规模な地震については、ほぼ予知できるまでになりました。

このような地震予知技術の向上を背景に、昨年、大规模地震対策特別措置法が制定されました。この法律は、一口にいえば、地震予知情報を防災対策に生かし、地震から、わたしたちの生命を守り、財産の被害を少なくしようというものです。

## 地震予知とわたしたちの暮らし

なお、地震予知は、やっと実用化のメドがつかはしめた段階であり、100%確実とはいえません。恐ろしい地震の災害を少しでも防ぐために、国は地震予知体制の充実を図りながら、地震に強い国づくりを目指しています。

ふだんの備えと心構えが災害からあなたを守ります。

待望の修了証書を手にしたのは昨年の三月。この時から「点訳奉仕登録者」として点字図書館に登録された。国見町ではただ一人。「点訳する本は図書館の方から与えられるわけですが、慣れないうちは疲れて一日に一ページか二ページがやっと」。今では十ページはこなし、一日三時間から五時間は点訳に精を出す。「以前はからだがかたかったので、点訳奉仕



を始めたらずつと丈夫になりました。また「今は手作業ですが、タイプだともっと早くできるので今度タイプの機械を注文しました」と意欲的。

ところで、現在、福島県点訳奉仕登録者は九十七人(伊達郡では六人)。うち実際に奉仕活動をしている人は五十七人とか。通信教育を受ける人は毎年二百人以上もいるのに最後までやり終る人は

一割にも満たない。また、資格は取っても実際に点訳奉仕をしている人はほんのわずか。大波さんはその中の貴重な一人である。一時の思いつきの気持では絶対に続かないことは明らか。

「年に一回、点訳奉仕者と利用者の交流会があり、今年も九月に行われます。その中でいろいろな話を聞くのですが、まだまだ点訳本が足りないですね。特に医学の本など専門的な本の希望が多いようです」。

しかし、図書館にさえも専門的に点訳をする人はいなくて、すべて大波さんのような奉仕者に頼っている現状である。

点訳は全くの無報酬。タイプの機械も自費で買うという。それを聞いて今さらながら、このような方々の善意におおまかさを思い知らされた。

大正十三年四月十五日生まれ。

### 9月20日〜26日 動物愛護週間

ネコブームなのだそうです、ネコに限らず動物たちにしてみれば、単にブームだからといって飼われたのではなかったものではないでしょう。

動物はアタセサリではありません。ブームだから、だれそれきかも飼っているから——といったかわいいうから——といったような単純な理由だけで動物を飼おうとする態度は自戒したいものです。最後まで飼う——終生飼育——という自覚と責任をもって、その動物の生理・生態、習生をよく理

解して正しい飼育を心がけましょう。動物を飼う場合は、家族全員でよく話し合せて、責任者を決めておくといふでしょう。

九月二十日〜二十三日は「動物愛護週間」です。いま一度、わたしたち人間と動物の望ましい関係について考えてみたいものです。

## 愛の献血ありがとう

### 国見町農協に感謝状

#### 献血協力団体として

このほど国見町農協は献血協力団体として保原保健所長から感謝状が贈られました。



保健所長からの感謝状を受け取る関口参事(左)

8月3日、65人が採血

#### ◎一般

- 朽木好秋 伊東芳子 高橋節子
- 松浦恵一 鈴木広茂 佐藤重男
- 吉田とく子 松浦新一 廣居重夫
- 柿本文隆 渡辺由美子 森林喜助
- 八島富一 鶴月辰也 松浦正行
- 佐々木治郎 斎藤美代子

#### ◎国見電子

- 八巻トシ子 渡辺アサ子
- 片平マユエ 斎藤秀子 嶋田 福
- 石幡露美子 高橋きぬ 大槻英紀
- 赤坂裕子 新田要輔 吉田洋子
- 斎藤美代子 小林マチ子 鈴木博子
- 柳村けい子 氏家春美 佐藤弘子
- 森坂はるい 富野ハル子 新村京子
- 大津弘美

#### ◎国見町農協

- 井砂寛代子 佐藤 力 古山トキ子
- 阿部隆夫 富野賢郎 斎藤靖子

#### ◎東北三精機

- 松原昌三 桑 英之 石川定良
- 秦 博之 半沢 弘 阿部明子

#### ◎清水製作所

- 佐藤昌子 阿部正一 桑島敏子
- 奥地すみえ 石川紀夫 佐藤信正
- 八島征雄 小暮 功 佐藤幸夫
- 渡辺雅夫

#### ◎国見町役場

- 国分次雄 佐藤弘利 安岡正
- 羽根田善吉 菅野信朗 池田トモヨ
- 菊地富子 奥山隆夫



国見町農協は献血車が町に来るたびに職場ぐるみで協力、献血の高揚に役を担っています。

献血は、健康なときに血液を提供し合う助け合いの精神で成り立っています。



国見町公民館  
電話 2676  
4156

## 富士登山記



8月24、25日にかけて催された富士登山には32名が参加、みんな元気に帰ってきました。

### 父ちゃんありがと

西大枝 小林 トキ(52)

町公民館主催の富士登山の募集があり、原町部落からも男女七名が参加した。私は体力もないので無理かと思ったが、主人と一緒にどうにか登れるのではないかと希望をもって八月二十四日午後六

時、みんなと一緒にバスに乗った車の中ではあまり眠れないままに二十五日午前二時、富士五合目に着いた。休む暇もなく仕度をして二時半いよいよ登山開始。外は風が冷たかったが歩くと汗ばんでくる。六合目には苦もなく着いた。七合目、八合目の明りは見えてもだんだん道は険しく、岩場が続く。なかなか登れない。少し登っては休みまた登る。いつの間にかみんなと離れてしまい主人と二人になってしまった。

八合目あたりから明るくなり始めた。ふと上を見ると頂上まで赤青黄色の花が咲いたような列、はるかな下を見下ろせば白い雲が、湖が、はつきり見える。すばらしいながめだ。また足運ぶ。でも胸は苦しき気分も悪くなる。なかなか前に進まない。主人が見かねて私のリュックまで背負って後押しをしてくれる。「新婚旅行かい」などと冷ややかに、八巻さんに「がんばって」と励まされ、一歩一歩ゆっくり登る。

主人が突然「頂上だぞ」と叫んだので前を見たら山頂の鳥居がすぐ目の前にあった。本当に頂上に

着いたのだと思った瞬間胸が熱くなり、主人の協力がなかったらここまででは登れなかったのではないかと考えた。時計は八時五分をさしていた。

さっそく頂上の浅間神社にお参りして無事登頂のお礼を申し上げ、富士山観測所、火口も見えて回った。そして、「ここが日本一の富士山なのだ、あ、やっぱり登ってよかったと喜びにひたりながらみんなと一緒に下山の途についた。最後に富士登山のみさん本当にお世話になりました。父ちゃんご苦労様でした。

### この経験を生かして

西大枝 佐藤真由美(24)

八月二十四日から二十六日まで公民館主催の富士登山が行われ、一度は登ってみたいと思っていたので参加させていだいた。

登山の経験は一度病院の方で友達太良山に登っただけだった。真夜中に登るのは心細かったけど多勢だし、そして、病院で夜勤しているつもりで登り始めた。日頃の運動不足のためか六合目から七合目近くでもう足が動かず、苦しくなり、頂上まで登れないと思い、登るのを断念しようと思った。でも先輩の方たちに負けないとい

いう意地と、絶対に頂上まで登る覚悟できたんだらう」と友達になった人達に励まされ、再度登り始めた。

本当にこの苦しきは登った経験のある人でないとわからないものだ。途中で両下腕をマッサージしてもらったり、荷物を持ってもらったりした。しかし、八合目過ぎてからは軽い荷物を持つるようになり、足の痛みもとれ、呼吸も苦しくなく頂上に無事たどりつくことができた。

登るのに七時間近くかかったけど、友達と励まし合いながら登った苦しくそして楽しかったこの時間は一生忘れられないだろう。今、職場にもどり、この登山の苦しみはひと時だったけど、患者さん達は毎日くが病氣との闘いで入院生活をおくっている。それを考えると何ともいえない気持ちだ。この登山で学んだことがらを生かして、楽しく入院生活をおくれるよう援助してあげたい。

最後に、二度とこんな辛い山登りをするものかと思っただけど、時がたつにつれもう一度登ってみたいと思うのだ。全く不思議なものである。今回の登山に参加し、いろいろな意味で自分自身の勉強になったし、よかつたと思う。参加されたみなさま、いろいろなお世話になりました。

## 青年学級だより

### 宿泊研修会

伊東みどり

八月二十五、二十六日の二日間公民館で宿泊研修会を行いました。これは学級の年間行事の一つで、宿泊を通じて親睦と友情を深めようとするもので、今年は二十二名が参加しました。

午後七時集合、七時半から外で花火をし、練香火花や打ち上げ花火を少しずつ……。終る頃はみんなどうぞくを囲んで練香火花に火をつけて……。それを見て、夏の終わりを感ずました。

八時からゲームとフィルムフオーラム(映画を見て話し合い)そのあと、何組かのグループに分かれて、今ふつとっている悩みや疑問など夜の更けるのも忘れて話し合いが続きまして。

次の日は外で奉仕作業の予定でしたが、あいにくの雨で、公民館の中を掃除しました。

この二日間の宿泊研修を終え、友達がいいるつてことはいいことだと思いましたが、みんなと一緒にいると何かしらもえらるものがあります。十一月に再び予定されているそうですが、また出てみたいと思っています。

私の出合った本

川内 鈴木 キミ(41)



主人もわかっていられるので何も言わないし、それに甘えている私なのかも知れないが、若い時のくせが今だに抜けないで、結婚してからも二、三冊の本を枕もとに置き、それを読んで寝るのが私の日課である。

私の本との出会いといえば、小学校に入学した時の教科書が初めてのような気がする。それでも一番印象深く、私を本の虫にしたのは小学三年生の国語の本の中にある「ここから来たの、海から来たの、お皿につけているお魚」というほんの短い一節の詩であった。広い海でゆうゆうと泳いでいる魚、そしてかわいい動物の姿、風、雲と次から次へと語り合えることができるのだと知ってからだ。それからというもの、アンデルセン童話、北原白秋、グリム童話、

島崎藤村、そしてスタンダールの「赤と黒」、トルストイの「戦争と平和」や「アンナ・カレーニナ」、ドストエフスキー「罪と罰」、パイルバツクの「大地」と、読みあさった。

この「大地」を読んだのは十三歳の時だった。「家は終りだぞ、土地を売り始めたら。わしらは土地から生まれ土地に帰らねばならぬだ。土地を持っていれば生きていられる。土地を奪えるものは誰もいない。」

土地を売るという息子達にそう言って身をかため、握りの土をにぎっている、土地に対してのすさまじい執念の王龍が目につかぶ。それから、女のあらゆる弱さとおろかさをもてなしている「戦争と平和」の中の主人公達から私はこれらの中の主人公達から人間のおろかさ、生きるむずかしさを学ぶことができた。生きるよびも知った。

本当に今まで数多くの本を読んできた。読むことにより私自身が大きく養われていくような気がする。良い本は何らかの形で心に残るので子供達にも多く読ませたい。ききたいと思ふ。

現在私は公民館から月二回本を借りて読んでいます。それが私の唯一の楽しみであるのでずっと続けていきたいと思います。

さくらんぼ学級とは、若き公民館を中心とした若い夫婦の集まりです。

夫婦なかよく

さくらんぼ学級生 一最終会一



吉田 吉夫さん (30)

恵子さん (25)

森山字西新田21の1

長男貴宏ちゃん (二歳三カ月)

〈家族〉

祖母、両親、夫婦、子ども一人

結婚したのは昭和五十一年四月桜の季節に。

子どもは苦手たと言っていたお父さんも、今ではタカヒロ、タカヒロと子ばんのふかりを發揮。すっかり父さんっ子になってしまっ……。しかるのママだけ、損な役。でも寝顔を見ていると疲れもふつとびやう。

(タカヒロより)

パパ、ママ、毎日おじごとくろうさん。体に気をつけてがんばってネ。ボクおりにこうしているからね。

あつかし俳句会

昭和五十四年八月二十五日

- \* 大いなる向日葵活けて終戦忌
- \* 白南風や犬吠岬の虚子の句碑
- \* 蝉鳴くや色即是空葬終る
- \* 片蔭を拾い歩みて老を知り
- \* 浴衣着の裾が気になる温泉宿かな
- \* 白地着て妻の起居のあらたまり

- \* 奥山 甲二
- \* 斎藤黄鶴楼
- \* 熊田 一陽
- \* 藤田 勝衛
- \* 野村たかし
- \* 八巻 正雄

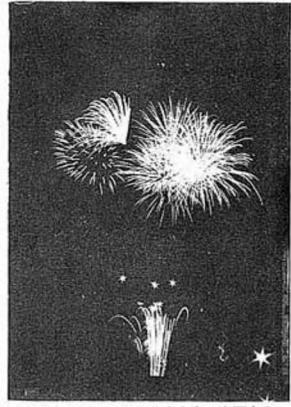
- \* 山の墓送り火一ツひとつ消え
- \* 初物を供えてくれと西瓜かな
- \* 摺上の瀬音たかまり葛の雨
- \* 宿に着きカナカナの啼く一樹かな
- \* 人の世の事には触れず山の萩
- \* 顔に手に日を浴び子等の西瓜割り
- \* 朝顔の日毎日教えて茶のうまし
- \* あつかしの夜汽車の音もすでに秋
- \* すいとんを炊いて八月十五日
- \* 新盆や灯を細うして子等は酌む

- \* 佐久間山月
- \* 須田 泰山
- \* 奥山 雨田
- \* 小野寺萬水
- \* 阿部 亨司
- \* 阿部しげを
- \* 佐藤 国樞
- \* 羽賀 えい
- \* 角田 昭子
- \* 熊坂 きよ

# 惜しむ

毎年八月二日は  
 国見町の夏の風物  
 詩である花火大会  
 が催されています  
 が、今年はおもう  
 つ子ども御興(み  
 こし)が出現、人  
 気を集めました。

## はっぴ姿もかわいい 子ども夏祭り



夏の夜空をいろどる花火大会は1万人の  
人にてぎわった

八月二日は観月台公園にある富  
 士神社の祭礼にあたり、これにあ  
 わせて花火大会が行われていま  
 とは以外と知られていませんが、  
 かつては盛大に御興渡御(みこし  
 とぎよ)も行われていたとい  
 うことです。

しかし、現在ではただ祭りの儀

式が行われているにすぎず、町商  
 工会青年部では「これではさみし  
 い。ぜひわれわれで御興を復活さ  
 せようではないか」と、子どもた  
 ちを中心とした夏祭りが計画され  
 ました。

さつそく夏祭り実行委員会を編  
 成、古くなっていた御興の修理、  
 子ども達の参加募集、寄付集めな  
 どにはん走しました。その結果、  
 御興のほかには樽(たる)御興四騎  
 をつくり、百人の子どもの達がそ  
 いのはっぴで目抜き通りをわり歩  
 き、祭りの気分は最高潮でした。

実行委員長の東海林一樹さんは  
 「子ども夏祭りは初めての試みで  
 お金もかかり、また事故防止にも  
 細心の注意を払いました。でもみ  
 なさんご協力のおかげで大成功  
 です。これからも毎年続け、子ど  
 も達が待ち遠しくなるような夏祭  
 りに育てていきたい」と話してお  
 りました。

9月 長月(ながつき)  
 ○16日・第34回国民体育大会  
 夏期大会(～19日宮崎  
 県で)  
 ○20日・動物愛護週間  
 ○21日・秋の彼岸入り・秋の  
 全国交通安全運動・環  
 境衛生週間  
 ○24日・秋分の日・結核予防  
 週間

10月 神無月(かんなつき)  
 ○1日・世界法の日・赤い羽  
 根共同募金始まる  
 ○10日・体育の日・目の愛護  
 デー  
 ○14日・鉄道記念日

秋の抜け毛 夏には、毛母  
 細胞を衰えさせる原因がいろ  
 いろあります。皮脂の分泌が  
 盛んですと毛穴がつまりやす  
 いです。暑さや不快がスト  
 レスとなつて自律の機能が乱  
 れると、毛細血管の働きが悪  
 くなり、毛母細胞の栄養供給が  
 悪くなります。強すぎる日射  
 が夏による栄養障害もよくあ  
 りません。こうしたことが重  
 重なって、夏の盛りにも毛母  
 細胞の活動が止まると、4～6  
 週間の退化期を経て、9月の  
 終りごろから毛根は休止期に  
 入り、抜け毛が目立つようにな  
 るわけです。秋の抜け毛は  
 病的なものではありません。  
 成長期の毛は抜けませんが、  
 退化期に入った毛は自然と抜  
 け落ちるものです。



### 奏助役、 ミスピーチを激励

八月十七日、奏助役は国見サ  
 ビスエリア上り線を訪問、桃売り  
 を応援にきたミスピーチを激励  
 してきました。サビエリアはち  
 ようど帰省客のリターン族で大に  
 ぎわいで利用者は一日一万人。一  
 箱三キロ詰の桃が飛ぶように売れ、  
 五人のミスピーチは汗かくて応対  
 していました。

## 心配ごと相談日

場所：役場宿直室  
 時間：9時～12時

こまつことや心配ごとがあり  
 ましたらお気軽にご相談下さい。  
 秘密は絶対に守ります。

〔相談員〕

9月25日(火)	吉田 忠	吉口 雄	黒田 正
10月5日(金)	吉田 ひとし	吉口 恒子	黒田 雄
10月15日(月)	阿部 俊容	吉田 恒子	阿部 俊容
10月25日(木)	佐野 市郎	大和田 与志江	佐野 市郎

### 昭和54年版 県民手帳と 福島県のすがた 申し込み受付中

各部落長さんをおとしたら  
 もおわかりと思いますが、ただ今  
 昭和五十五年版「福島県民手帳」  
 と「福島県のすがた」の申し込み  
 を受け付けています。一人一冊、  
 一家に一部ぜひおそろいください。  
 県民手帳

- ・使いやすい日記編
- ・最新の豊富統計資料
- ・人口、商工業、財政、社会  
 指標など
- ・日常生活に役立つ便覧

郵便番号、県内市外局番など

### 役場庁舎の上棟式

町役場改築工事は十月末完成を目ざして順調に進み、八月二十四日、無事上棟式を終えました。

昨年の宮城県沖地震で痛めつけられた庁舎は、国からの災害復旧事業の融資を受けて改築が決定、昨年の十月に着工されていたものです。上棟式には町長をはじめ議会、工事関係者など約五十人が出席、十月末の完成を待たずばかりとなりました。



## を 夏 く ゆ



暑さにも負けず元気いっぱいいにり歩く

### 楽しかった キャンプの集い

#### 霊山湧水の里

八月二十二・二十三、キャンプの集いに参加してきました。参加したのは男三人、女四人、それ



夕食のおかずは何か？

### 善意の窓

○羽根善助さん（駅前）

——明治学級に一万円  
社会福祉協議会へ

○国見町理容美容親睦会 一万円

### カソプルの誕生

七月中に届けられた方

氏名 部落

佐野 義之 第七

渡辺 秋江 福島市

八月中に届けられた方

氏名 部落

吉田 良直 山崎館

佐藤 博子 福島市

に公民館職員の方が来てくれました。

食事のしたくは女子の仕事でした。しかし火がなかなか燃えにくく、燃えても灰が宙を舞って、灰の入ったカレーライスをおかず、お汁でした。でもだれも文句もいわずおかわりをしてくれました。

夜、待望のキャンプファイヤーですが、木がしめつけていてなかなか燃えてくれないう残念でした。でもみんなそのまわりで歌をうたい楽しく夜はふけていったのです。

テントにはいつてからもみんな寝つかれずワイワイ話をしたりして結局眠ったのは最高の人で二時間でした。

キャンプに行くまでいろんなことがありました。雨が降って中止になりそうだったし、行く途中の道で他の車が川に落ちて回り道をした。キャンプ場に着いたのは午後三時になりそれから昼食の用意やテント張り、その時は大変だなと思っただけ、今思い出しみると楽しかったことばかり。久しぶりに友達もじっくり話せました。男の人たちの作ったみそ汁もおいしかったし何もいうことはありません。ただ日程が遅かったので、早い時期にやればもっと多くの人に参加できたことでしょう。

公立藤田総合病院  
移築10周年記念

## 文化講演会

講師 三国一朗（放送タレント）

と ところ 9月29日（土）午後2時  
国見町福祉センター二階大ホール

入場無料 多数ご来聴ください  
主催 公立藤田総合病院  
後援 国見町教育委員会

・ 価格 三百円  
福島県のがた

・ 県の最新版地図 1,231(七色刷)

・ 県勢をカラー印刷で図表化して

見やすい。

・ 各市町村ごとの統計資料が一目

でわかる。

・ 折りたたみで使いやすい

・ 価格 二百円

申し込み先

役場企画課

〒621-1102 二一四一七五

申し込み締め切り

九月二十日

# お知らせ



昭和54年 就業構造基本調査

## 就業構造基本調査 にご協力を

総理府統計局と福島県では、十月一日現在で九回目の就業構造基本調査を実施します。この調査は、国民の就業・不就業の状態を種々の側面から詳細にとらえるもので、雇用・失業対策をはじめとする諸施策立案のための基本統計の一つとなっております。

当町では、鳥取、山崎北、駅前、大町南、貝田、並柳の六地区が指定されました。十月初めに、統計調査員が各地区の調査対象となった世帯をお訪ねして、調査票の記入をお願いいたしますのでご協力ください。

## 新有権者の感想文募集

自治省と明るい選挙推進協会では新有権者の感想文を募集して

ます。新有権者としての心構えや選挙を経験したことなどにより地方自治や国政への参加について感じたことを二千字(四百字詰原稿用紙五枚)以内にとめてください。応募資格は次のとおりです。

応募資格  
昭和二十四年一月一日から昭和三十五年十二月三十一日までの間に生まれたもの  
応募期間  
昭和五十四年九月一日(日)から十月三十一日(水)まで  
提出先  
福島市杉妻町二番一六号  
福島県選挙管理委員会  
その他  
くわしいことは福島県選挙管理委員会(☎福島二一〇二二)までおたずねください。

## 詩吟の会会員募集

—吟友会

新しく詩吟の会として「吟友会」が誕生しました。流派にこだわらない朗詠法でやりますので楽しみながら覚えられます。年齢・性別に関係ありませんからどなたも気軽にご参加ください。

毎週土曜日、午後七時半から九時半まで(ただし第三土曜日は休館日につき金曜日に繰上げ)申込場所

町公民館(☎二六七六)または須田泰山(☎二二五一)佐藤寅一(☎二二一七)まで

## 自衛官を募集

ただいま防衛庁では、特別戦国軍公務員二等陸海空士自衛官を募集しています。  
▽初任級 八万五千八百円  
▽年齢 十八歳—二十五歳

※くわしくは自衛隊福島募集事務所(☎福島四六一九二〇)または役場住民課へお問い合わせください。

## 福島電報電話局から

電電公社では、地震や台風などの災害により電話が不通になった場合でも、特に緊急の通話を確保するための場所に孤立防止用無線電話機(有料)を設置しておりますので、いざというときお役に立て下さい。

なお、電話の利用にあたっては防災関係機関等の通話を優先しますので、場合によっては通話時間を制限させていただくこともありますのでご了承願います。

◆ 国見町役場

## おめでとうございます

八月中に届けられた方(敬称略)			
父の名	子の名	部	落
八巻	英男	健志	第七
安孫子	和夫	真也	小箱
渡辺	長雄	敏行	太田川
井砂	善栄	聡	北部
鈴木	文雄	裕一	築館
林	栄一	優美子	泉田中
佐久間	朝男	郁美	第十二
高橋	仁一	由美	内谷
大沼	重好	重成	貝田
仲野	道夫	智史	源山山西
後藤	幸信	幸恵	源山山西
佐久間	利信	紀明	鶏町
星野	廣	彰	源山寺
菅原	正志	隆志	源山北
佐藤	幸夫	由実	源山北

## おくやみ申しあげます

八月中に届けられた方(敬称略)			
氏名	年齢	部	落
吾妻	カツヨ	69	第三
高橋	泰治	77	第十一
加藤	ワキ	76	光明寺
山田	キノ	68	錦町
松浦	勝美	31	築館

## 編集日記



○空気がさらりと肌に心地よく、サルビアの燃えるような赤が目にしみる。もうまぎれもなく秋。スポーツには、芸術には、これから十一月まで秋の行事が続いている。○今秋のわが国最大の関心事はいうまでもなく衆議院議員総選挙。八十年代の日本を方向づける大切な選挙である。しかし、選挙のたぎりに札束が乱れ飛び、金権政治が後を断たない。今の世の中は、真面目で善良な庶民だけが損をするようにできてはいるのだろうか。○一年半にわたって紹介してきたさくらんぼ学級生は今回で終了となる。結婚五〜六年から新婚ホヤホヤまでさくらんぼのごとく二つで一つ。取材に行くたびに、ヒトリモノとしてはうらやましい限りであった。

## 今月の納税

### 固定資産税

第三期